

再意見提出フォーマット

再意見提出者	財団法人日本移動通信システム協会
--------	------------------

意見項目	意見内容
(1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望（2015年ごろや2020年ごろのワイヤレスブロードバンドのサービスイメージ、システムイメージなど）	
(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題（周波数の確保、国際標準化・研究開発の推進、利用環境の整備）	
(3) 関連する国内外の動向と課題	
(4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する事項	

複数のサービスやシステムについてご回答される場合は、それぞれ別々のフォーマットに記入してください（できるだけイメージ図等を加えてください。）。

意見募集において寄せられた意見に対する意見

No.	意見提出者	寄せられた意見に対する意見内容
40 47 58	クアルコムジャパン株式会社 ソフトバンクモバイル株式会社 ソフトバンクテレコム株式会社 ソフトバンク BB 株式会社 日本エリクソン株式会社 ノキアシーメンスネットワーク株式会社 ノキアジャパン株式会社 ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社	<p>・当協会は1500MHz帯（9.65MHz×2）にてデジタルシステム、800MHz帯（10MHz×2）にてアナログシステムという二つの周波数帯にてMCAを運用している。参考ではあるが、米国においても800MHz帯で自営業者の通信として、PLMRSと称するサービスに18MHz×2の周波数が利用されているほか、900MHz帯でも自営業者に各種のサービス用周波数が数多く割り当てられており、電気通信事業者と自営業者によってバランスよく周波数が利用されている。</p> <p>・当協会では、1500MHz帯については周波数有効利用策として定められた周波数割当計画に従い、2014年3月末日にサービスを停止することを決定しているところである。一方800MHz帯についても、2012年9月末日までに東京等一部エリアのサービスを停止する予定である。</p> <p>・しかし、MCAには携帯電話には無い、一斉同報機能、即時通話機能等があり、また、災害時にも携帯電話に比べると格段につながり易い等のメリットがあり、割り当てられた周波数により、これらのメリットを必要とする利用者にMCAを利用しているところである。</p> <p>・「周波数を移行すべき」「利用周波数を縮小すべき」などのご意見が出されているが、こうしたMCAを希望し、利用して</p>

		<p>いる利用者の保護を前提として検討することが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に、国の制度として周波数の移行等を求めることになるのであれば、利用者が即応することは簡単ではないので、利用者各社の事情を念頭に入れながら、それなりの期間をかけて、移行によって生じる損失の有無と補てん、移行のために要する費用や移行の方策を検討することが必要と考える。
--	--	---